

# AGC

Your Dreams, Our Challenge

## ボンフロン建築用塗装仕様書

# BONINFLOON



## History

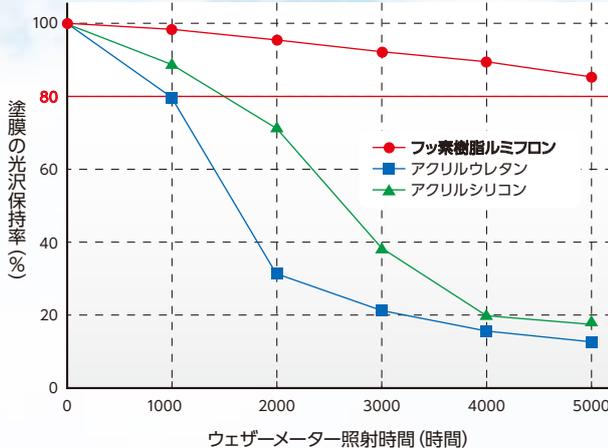
### 沿革

- 1963年 (昭和38年)
  - 東京都中央区京橋に本社を定め、資本金1億円にてボンマイル株式会社を設立
  - 西ドイツ・クノール社より技術導入したセメント系無機釉薬工法を基本に、内・外装用大判美術タイル「ボンマイル」の開発製造を開始
- 1965年 (昭和40年)
  - 「ボンマイル」の野外現場施工技術の開発に成功、複層仕上塗材（吹付タイル）のルーツとなる
- 1983年 (昭和58年)
  - 高耐候性常温硬化型フッ素樹脂塗料「ボンフロン」の商品化に成功。同塗料の製造販売を開始
- 1988年 (昭和63年)
  - ボンマイル株式会社を旭硝子コートアンドレジジン株式会社に社名変更
- 2007年 (平成19年)
  - 旭硝子株式会社創立100年を機に“AGCグループ”としての運営の強化をめざす
  - 社名を旭硝子コートアンドレジジン株式会社からAGCコーテック株式会社に変更

### 耐候性について

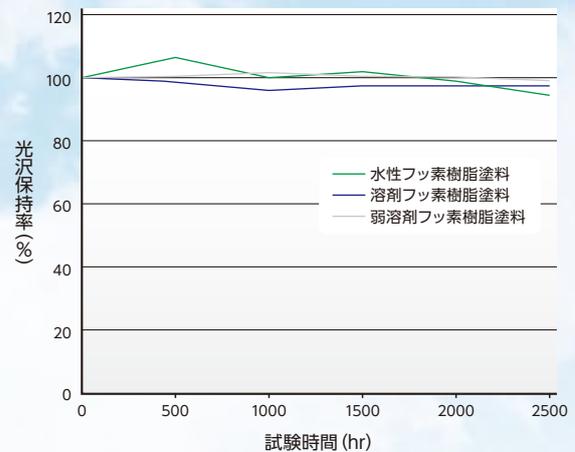
ボンフロンの特徴としてフッ素樹脂塗料の優れた耐候性を有しています。

#### サンシャインウェザーメーター試験



サンシャインウェザーメーター試験において照射時間4,000時間で塗膜の光沢80%以上を保った塗料が【ボンフロン】です。

#### キセノン試験



JIS K 5658建築用耐候性上塗塗料

鏡面光沢度⇒70以上

1級：照射時間2,500時間後の光沢保持率が80%以上

JIS K 5659鋼構造物耐候性塗料

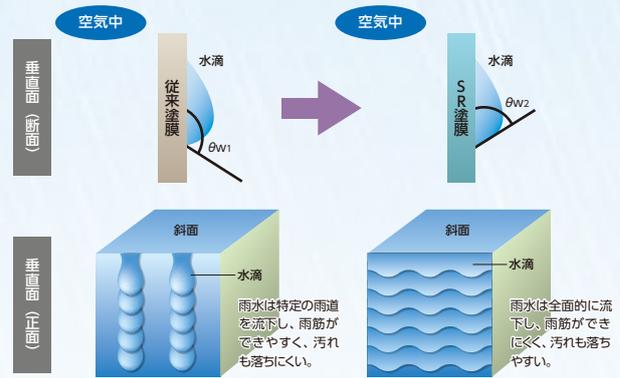
鏡面光沢度⇒70以上

1級：照射時間2,000時間後の光沢保持率が80%以上

### 低汚染機能とは

1994年には低汚染型フッ素樹脂塗料の商品化に成功しました。従来性能である長寿命に加え、低汚染化により美しく建物を保護していきます。油性成分を含む都市型汚染による雨筋汚れを低減化するために、塗膜表面を親水・撥油化しました。降雨時に汚染物質を雨水と共に洗い流す自浄機能を付与し、「長く、いつまでも美しく」を実現しました。

※SR=Soil Release

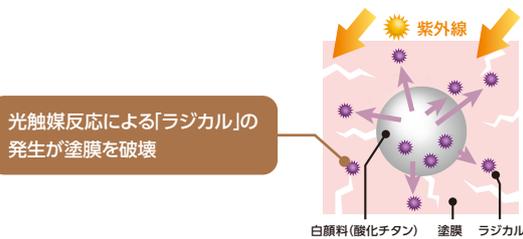


### ボンフロンGTとは

過剰な紫外線、湿度、塩害等特殊環境において、光触媒反応による急速な塗膜劣化を防ぐため、酸化チタン(白顔料)をコーティングする事によって、光触媒反応をおこりにくくし塗膜の劣化を制御する顔料を使用しています。

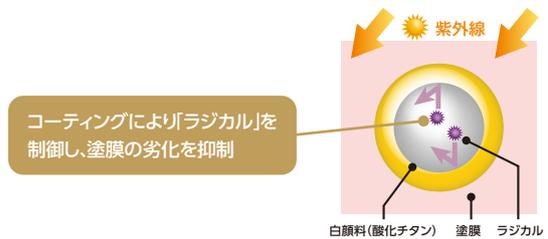
#### <従来塗料>

ラジカルとは白顔料に含まれている「酸化チタン」が紫外線や雨風に当たり光触媒反応によって発生する物質で、塗膜を破壊してしまいます。



#### <ボンフロンGT>

ボンフロンGTは、白顔料の酸化チタン表面を特殊処理することにより、光触媒反応をブロックし、ラジカルの発生を制御します。

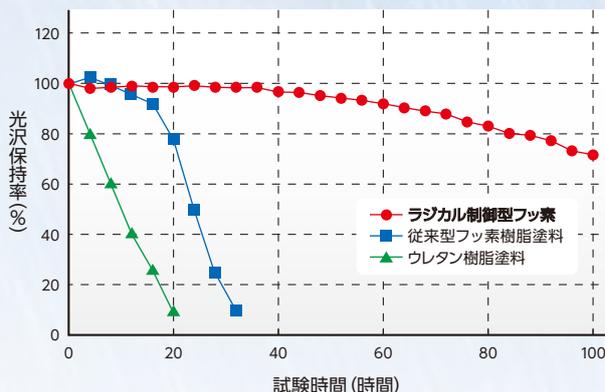


※光触媒反応は、酸化チタンに高温、光、水の3つの条件が重なる厳しい環境で著しく発生します。

### 過酸化水素キセノンランプ式促進耐候試験結果

ラジカル制御型フッ素樹脂塗料の耐候性データ  
(超促進耐候性試験)

\*過酸化水素水、紫外線による触媒反応の劣化促進試験



スマートフォンで読み込むと下地から塗装仕様書を検索できるページが表示されます

## コンクリート下地 クリヤー塗装仕上

水性 艶調整：艶有・半艶・艶消

### BF-A101/ボンフロン水性クリヤーコート工法

カラークリヤー5%以内

適用素地		打ち放しコンクリート、普通プレキャストコンクリート板、スレート板、押出成形セメント板					
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法	
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。					
1	下塗	ボンフロン水性ACガードコート	既調合	0.09~0.12 0.12~0.16	1	16h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロン水性ACミドルコート	既調合	0.10~0.12 0.12~0.16	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロン水性SRラストコートII	既調合	0.06~0.08 0.08~0.11	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合計				3	設計価格 3,100円/m <sup>2</sup>		

水性 艶調整：完全艶消

### BF-A106/ボンフロンマットSRクリヤー工法

カラークリヤーはありません。

適用素地		打ち放しコンクリート、普通プレキャストコンクリート板、押出成形セメント板、スレート板 ガラス繊維補強セメント板					
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法	
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。					
1	下塗	ボンフロン水性ACガードコート	既調合	0.09~0.12 0.12~0.16	1	16h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロン水性ACミドルコート	既調合	0.10~0.12 0.12~0.16	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロンマットSRクリヤー	既調合	0.05~0.06 0.06~0.08	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合計				3	設計価格 3,200円/m <sup>2</sup>		

溶剤 艶調整：艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消

### BF-A203/ボンフロンACドライ-SR工法(下地調整なし)

カラークリヤー10%以内

適用素地		打ち放しコンクリート、普通プレキャストコンクリート板、押出成形セメント板、スレート板 ガラス繊維補強セメント板					
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔(23℃)		施工方法
					工程内	工程間	
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。					
1	下塗	ボンガード	既調合	0.13~0.16 0.16~0.22	1~2	指触 16h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロンACドライ中塗 主剤/硬化剤=10/1	専用シンナー 0~10	0.10~0.13	1	— 16h以上	エアレス
3	上塗	ボンフロンAC#1100SRクリヤー (ボンフロンAC#1500SRカラークリヤー) 主剤/硬化剤=12.5/2.5	専用シンナー 0~30	0.08~0.11	1~2	指触 —	エアレス
合計				3~5	設計価格 3,900円/m <sup>2</sup>		

## コンクリート下地の調整 打放し面の著しい色調の差・補修跡などの色調調整が可能です。

### 【全面調整の場合：AC下地調整材W】

- ボンフロン打放しコンクリート保護工法用の専用下地調整材で、多様な打放しコンクリート面の色調調整に対応できます。
- 水性一液タイプで、特殊合成樹脂バインダーを主成分としており、コンクリートからのエフロの発生を制御します。

※詳しくは、AC下地調整Wの説明書をご覧ください。

### 【部分調整の場合：ボンフロン水性GT】

※水性仕様のみ適応

- 中塗塗装後に模様合わせができます。
- 水性フッ素塗料で模様合わせしますので劣化しません。
- 水性塗料なので、パッティングし易いです。

コンクリート下地 エナメル塗装仕上

■ GT-B106/ボンフロン水性HBC-SR工法

水性

艶調整：艶有・半艶・艶消

適用素地	RC、モルタル、窯業サイディング板、押出成形セメント板						
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法	
素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。						
1	下塗	ボンフロン水性用プライマーSエナメル	清水 0～15	0.12～0.15 0.15～0.20	1	2h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロン水性W#1500中塗	清水 0～15	0.09～0.11 0.11～0.15	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロン水性GT-SR	清水 0～5	0.09～0.11 0.11～0.15	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合計				3	設計価格 3,100円/m <sup>2</sup>		

■ GT-B305/ボンフロン弱溶剤HBC-SR工法

弱溶剤

艶調整：艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消

適用素地	RC、モルタル、普通プレキャストコンクリート板、押出成形セメント板、スレート板、ガラス繊維補強セメント板						
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔(23℃) 工程内：工程間	施工方法	
素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。						
1	下塗	ABFライトエポプライマー 主剤/硬化剤=13.5/1.5	専用シンナー 5～10 10～20	0.10～0.13 0.13～0.17	1	— 16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロンライト中塗 主剤/硬化剤=13.5/1.5	専用シンナー 5～10 10～20	0.11～0.14 0.14～0.18	1	— 2h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロン弱溶剤エナメルGT-SR 主剤/硬化剤=12/2	専用シンナー 0～5 0～10	0.08～0.09 0.09～0.18	1	— —	刷毛・ローラー エアレス
合計				3	設計価格 3,300円/m <sup>2</sup>		

■ GT-B205/ボンフロンHBC-SR工法

溶剤

艶調整：艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消

適用素地	RC、モルタル、普通プレキャストコンクリート板、スレート板						
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔(23℃) 工程内：工程間	施工方法	
素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。						
1	下塗	ABFホワイトプライマー 主剤/硬化剤=10/1	専用シンナー 10～30	0.09～0.11 0.11～0.15	1	— 16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロン#1000HB中塗 主剤/硬化剤=15/3	専用シンナー 10～40	0.07～0.09 0.09～0.12	1	— 16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロンGT#1000SR上塗 主剤/硬化剤=12.5/2.5	専用シンナー 10～30	0.09～0.11 0.11～0.15	1	— —	刷毛・ローラー エアレス
合計				3	設計価格 3,400円/m <sup>2</sup>		

## コンクリート下地 水性パターンエナメル仕上

### ■ GT-E105/ボンフロンWR-100HBSR工法

水性

艶調整：艶有・半艶・艶消

適用素地		RC、モルタル					
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23°C)	施工方法	
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。					
1	下塗1	ボンカチオンプライマー	既調合	0.15~0.19 0.19~0.26	1	2h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	下塗2	ボンHBサーフェーサーR	清水 5~8 2~5	0.30~0.50 0.80~1.20	1	16h以上 7日以内	ウールローラー 砂骨ローラー
3	中塗	ボンフロン水性W#1500中塗	清水 0~15	0.09~0.11 0.11~0.15	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
4	上塗	ボンフロン水性GT-SR	清水 0~5	0.09~0.11 0.11~0.15	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合計				4	設計価格 3,200円/m <sup>2</sup>		

## コンクリート下地 水性パターン完全艶消エナメル仕上

### ■ GT-G106/ボンフロンマットSR-R工法

水性

艶調整：完全艶消

適用素地		RC、モルタル					
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23°C)	施工方法	
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。					
1	下塗1	ボンカチオンプライマー	既調合	0.15~0.19 0.19~0.26	1	2h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	下塗2	ボンHBサーフェーサーR	清水 5~8 2~5	0.30~0.50 0.80~1.20	1	16h以上 7日以内	ウールローラー 砂骨ローラー
3	中塗	ボンフロン・マットGT-SR	清水 0~5	0.10~0.12 0.12~0.16	1	2h以上	刷毛・ローラー エアレス
4	上塗	ボンフロン・マットGT-SR	清水 0~5	0.10~0.12 0.12~0.16	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合計				4	設計価格 4,700円/m <sup>2</sup>		

## コンクリート下地 防水型複層塗材E (同等品)

### ■ GT-P103/ボンフロン弾性HB-WSR工法

水性

艶調整：艶有・半艶・艶消

適用素地		RC、モルタル					
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23°C)	施工方法	
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。					
1	下塗	水性シーラーD	既調合	0.10~0.13 0.13~0.15	1	3h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	主材	弾性HB主剤(兼用)	清水 0~1	0.50~0.70	1	16h以上	砂骨ローラー
3	主材	弾性HB主剤(兼用)	清水 0~1	0.50~0.70	1	24h以上	砂骨ローラー
4	中塗	ボンフロン水性W#1500中塗	清水 0~15	0.09~0.11 0.11~0.15	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
5	上塗	ボンフロン水性GT-SR	清水 0~5	0.09~0.11 0.11~0.15	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合計				5	設計価格 4,600円/m <sup>2</sup>		



## コンクリート下地 太陽熱高反射率フッ素樹脂塗装仕上

### GT-F101/ボンフロン太陽熱高反射率水性C-SR工法

水性

艶調整：艶有・半艶・艶消

適用素地		外壁専用:RC、モルタル、窯業系サイディング板					
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法	
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れを除去する。					
1	下塗	ボンフロン水性用プライマーSエナメル	清水 0～15	0.12～0.15 0.15～0.20	1	2h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロン水性サンバリア中塗GT	清水 0～5	0.13～0.16 0.16～0.21	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロン水性サンバリアSR上塗GT防藻	清水 0～5	0.10～0.12 0.12～0.16	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合計				3	設計価格 4,500円/m <sup>2</sup>		

## 金属下地 太陽熱高反射率フッ素樹脂塗装仕上

### GT-F306/ボンフロン太陽熱高反射率弱溶剤HBM-60SR工法

弱溶剤

艶調整：艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消

適用素地		亜鉛メッキ(化成処理)、アルミニウム材(化成処理)、ボンデ鋼板、鋼材、鋼板で旧塗膜が残る場合 旧塗膜:アルキッド系、エポキシ系、ウレタン系、アクリルシリコン系					
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔(23℃) 工程内   工程間	施工方法	
素地調整		手動、又は動力工具(電気サンダー、スクレーパー、ワイヤーホール等)を用いて、劣化塗膜及び錆を除去する。 但し、活膜は残す。 ゴミ・埃・油脂等の付着物は、適切な方法を用いて除去する。					
1	下塗	ボンエポコートライト 主剤/硬化剤=16.2/1.8	専用シンナー 0～10 0～15	0.13～0.16 0.16～0.22	1	—   16h以上 14日以内	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロンライト中塗 主剤/硬化剤=13.5/1.5	専用シンナー 5～10 10～20	0.11～0.14 0.14～1.18	1	—   2h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗1	ボンフロンライトサンバリアGT 主剤/硬化剤=12/2	専用シンナー 0～5 0～10	0.10～0.12 0.12～0.16	1	—   16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
4	上塗2	ボンフロンライトSRクリアー 主剤/硬化剤=14/2	専用シンナー 0～10 0～20	0.05～0.07 0.07～0.09	1	—   —	刷毛・ローラー エアレス
合計				4	設計価格 4,900円/m <sup>2</sup>		

### GT-F208/ボンフロン太陽熱高反射率M-30SR工法

改修専用

溶剤

艶調整：艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消

適用素地		一般鋼板、鋼材 (旧塗膜が残る場合:アルキッド系、塩化ゴム系、エポキシ系、ウレタン系(活膜))					
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔(23℃) 工程内   工程間	施工方法	
素地調整		■3種ケレン 手動、又は動力工具(電気サンダー、スクレーパー、ワイヤーホール等)を用いて、劣化塗膜及び錆を除去する。 ゴミ・埃・油脂等の付着物は、適切な方法を用いて除去する。					
1	下塗	ボンエポコート#15MP 塗料液/硬化剤=12.8/3.2	専用シンナー 0～5	0.16～0.20 0.20～0.26	1	—   16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンエポライムMC 塗料液/硬化剤=11.2/4.8	専用シンナー 10～40	0.15～0.18 0.18～0.24	1	—   16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗1	ボンフロンサンバリアGT 主剤/硬化剤=13/2	専用シンナー 10～30	0.09～0.11 0.11～0.15	1	—   3h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
4	上塗2	ボンフロンサンバリアGT 主剤/硬化剤=13/2	専用シンナー 10～30	0.09～0.11 0.11～0.15	1	—   16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
5	上塗3	ボンフロン#2050SRクリアー 主剤/硬化剤=12.5/2.5	専用シンナー 0～30	0.07～0.08 0.08～0.11	1	—   —	刷毛・ローラー エアレス
合計				5	設計価格 7,300円/m <sup>2</sup>		

コンクリート下地 旧塗膜ルミフロン系フッ素樹脂塗料塗替仕様

■ GT-B214/ボンフロンC-770SR工法

溶剤 艶調整：艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消

適用素地		既存塗膜 ルミフロン系フッ素樹脂塗料(無機系素地) 既存塗膜が活膜の場合						
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔(23℃) 工程内: 工程間		施工方法	
素地調整		高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している塵埃・汚れ等を水洗いしながら除去する。 サンドペーパー(#200以上)で目荒しを行う。						
1	下塗	ABF#770プライマー	既調合	0.08~0.10 0.10~0.14	1	—	16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロンGT#1000 主剤/硬化剤=13/1	専用シンナー 10~40	0.07~0.09 0.09~0.12	1	—	3h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロンGT#1000SR上塗 主剤/硬化剤=12.5/2.5	専用シンナー 10~30	0.09~0.11 0.11~0.15	1	—	—	刷毛・ローラー エアレス
合計					3	設計価格 4,000円/m <sup>2</sup>		

■ GT-E115/ボンフロンWR-100SR工法

クラックがある場合 水性 艶調整：艶有・半艶・艶消

適用素地		既存塗膜 ルミフロン系フッ素樹脂塗料(無機系素地) 既存塗膜が活膜の場合						
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23℃)		施工方法	
素地調整		高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している塵埃・汚れ等を水洗いしながら除去する。 サンドペーパー(#200以上)で目荒しを行う。						
1	下塗	ボンフロンHBサーフェーサーR(W)	清水 0~3	0.30~0.50 0.80~1.20	1	16h以上 7日以内	ウールローラー 砂骨ローラー	
2	中塗	ボンフロン水性GT(艶消)	清水 0~5	0.12~0.15 0.15~0.20	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス	
3	上塗	ボンフロン水性GT-SR	清水 0~5	0.09~0.11 0.11~0.15	1	—	刷毛・ローラー エアレス	
合計					3	設計価格 4,200円/m <sup>2</sup>		

非鉄金属下地 旧塗膜カイナー(PVdF)フッ素樹脂塗料塗替仕様

■ GT-C228/ボンフロンM-720SR工法(既存カイナー系塗膜)

溶剤 艶調整：艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消

適用素地		既存塗膜 カイナー系フッ素樹脂塗料(金属系素地) 既存塗膜が活膜の場合						
工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔(23℃) 工程内: 工程間		施工方法	
素地調整		高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している塵埃・汚れ等を水洗いしながら除去する。 サンドペーパー(#200以上)で目荒しを行う。						
1	下塗	ABF#720プライマー 塗料液/硬化剤=12.8/3.2	専用シンナー 0~5	0.14~0.17 0.17~0.23	1	—	16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロンGT#2000 主剤/硬化剤=13/1	専用シンナー 10~40	0.07~0.09 0.09~0.12	1	—	3h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロンGT#2000SR上塗 主剤/硬化剤=12.5/2.5	専用シンナー 10~30	0.09~0.11 0.11~0.15	1	—	—	刷毛・ローラー エアレス
合計					3	設計価格 4,300円/m <sup>2</sup>		

## 施工実績



霞城セントラル



沖縄美ら海水族館



青山学院記念館 大学体育館(改修)



新宿センタービル



新宿東宝ビル



熊本城 天守閣



早稲田大学中野国際コミュニティプラザ



パークコート虎ノ門



ルミフロンはAGC(株)の登録商標です。



JR-AB-18002E

『ボンフロン水性GT』『ボンフロン水性GT-SC低汚染防藻』は、タイプⅢ環境宣言のエコリーフ環境ラベルを取得しました。

ボンフロンはAGCコーテック(株)の登録商標です。

No.2023.08 TPS

**AGCコーテック株式会社** <https://www.agccoat-tech.co.jp/>

本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-9 コンフォール安田ビル5F TEL: 03-5217-5101 FAX: 03-5217-5106  
西日本支店 〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1-1-4 阪急ターミナルビル12F TEL: 06-7663-0695 FAX: 06-7663-0697